

アニメーションを観光コンテンツとして 活用する地域ITSの可能性

金石 明日香¹・森田 均²

¹非会員 長崎県立大学大学院 国際情報学研究科情報メディア学専攻
(〒851-2195 長崎県西彼杵郡長与町まなび野1-1-1)

E-mail: M2213002@sun.ac.jp

²非会員 長崎県立大学 国際情報学部情報メディア学科 教授
(〒851-2195 長崎県西彼杵郡長与町まなび野1-1-1)

E-mail: morita@sun.ac.jp

観光コンテンツとしてのアニメ・まんが作品の“聖地巡礼”を地域ITSにおける可能性・有用性という観点から考察する。本論における“聖地巡礼”とは、アニメやまんが作品の舞台となった地域を、作品の受け手・ファンが訪れることを指す。取り上げるのは、テレビアニメ『sola』である。『sola』は、長崎市を舞台にした作品だが、長崎県の地上波テレビでは放送されることはなかった。その一方で、『sola』を視聴したファンの一部が長崎県を訪れていることがウェブログから判明した。アニメやまんが作品がただの娯楽としてではなく、長崎市の地域コンテンツとして、観光コンテンツとして有益であると考えられる。そこで、既存の長崎市LRTナビゲーション推進協議会による地域ITSサービスと連動させて『sola』を用いた“聖地巡礼”の電子マップを作成し、地域社会における、地域・観光コンテンツのアニメ・まんが作品について検討する。

Key Words : Animation, Manga, sightseeing, local ITS, LinkData

1. はじめに

(1) 研究背景

まず、本コンテンツの作成に至った研究背景について説明する。

執筆者自身、出身地である長崎県内の同人誌即売会について着目し、研究を行っていた。同人誌即売会とは、アマチュアの描き手自身がまんがやイラスト作品を制作し、自費で出版した本（同人誌）を売買するイベントである。売買されるものは、まんがや小説の同人誌の他、評論、自主制作アニメなど、少年まんがや少女まんが、ミリタリーなどジャンルも作品の媒体もさまざまである。本論文における「漫画」の表記に関しては、「コミック」は海外を意識したものであるし、漢字のままでは堅苦しい。日本に根付いている、世代関係なく読めて、気軽に手に取ってほしいという意図があるため、「まんが」というひらがなの表記を選んだ。同人誌即売会には、アマチュアの描き手以外にも、プロの作家が趣味で同人誌を発行することもあり、同人誌即売会そのものも変化している。同人誌即売会の例としては、コミックマーケ

ット準備会主催の「コミックマーケット」や、赤ブーブー通信社主催の「コミックシティ」が例に挙げられる。都市部の同人誌即売会では、数万人から数十万人の参加者がいる大規模なものでは、企業が主催するものもある。都市部から離れた地方においては小規模なものも多く、個人あるいは集団・サークル単位の主催が多い。

執筆者が卒業論文を執筆・提出した2013年1月の時点では、長崎県の同人誌即売会では、二次創作物が全体の八割から九割を占めていた。二次創作物とは、既存の作品をもとに創作された作品で、パロディである。余談ではあるが、長崎県内及び地方の同人誌即売会では、「同人誌即売会」と称しているが、実際は同人誌よりはポストカードやシールといったグッズが大部分を占めている。即売会の会場では、同人誌やグッズの売買のほか、それらに描かれたアニメやまんが作品、登場するキャラクターについて話される。つまり、二次創作物がされるためには、元になるアニメやまんが作品が必要なのだ。卒業論文を提出した2013年1月以降、長崎県内では長崎市のみが同人誌即売会の規模が大きくなり、二次創作物の作品は変わらず全体の大部分を占めている。一方で、佐世保市や他

の市町村で開催される同人誌即売会は、開催回数や主催者及び即売会の参加者の減少が目立ち、衰退しつつある。そこで本論文では、地方、長崎県という地域におけるアニメ・まんが作品を取り上げ、聖地巡礼という点に着目した。

(2) 観光コンテンツとしての聖地巡礼

アニメやまんが作品のなかには、実在する地域をモデルに描いた作品も多くある。作品のファンやオタクが、モデルになった地（つまりは、聖地）を訪れることを「聖地巡礼」という。長崎県内にも、アニメ・まんが作品の聖地がある。例えば、『幻影ヲ駆ケル太陽』では長崎市が、『坂道のアポロン』では佐世保市が、『ぼらかもん』では五島列島が舞台（聖地）になっている。

執筆者が「聖地巡礼」を知ったのは、テレビやインターネットニュースで、アニメ『らき☆すた』が特集されていたのがきっかけだ。アニメやまんが作品、作品のファンやオタクがマスコミで取り上げられていた。

オタクとは元は「おたく」で、1970年代初めに中森明夫が発見・命名した。マスコミを通じ、その存在は次第に浸透した。バブル経済崩壊以後、アニメやまんがと同じように、「おたく」が海外に受け入れられた。おたくは、オタクと呼称されるようになり、日本国内、世界中に知られるようになった。オタクの概念も世代も変化している。また、オタク（おたく）は過去には、差別の対象でもあった。とある殺人事件の犯人がオタクであったという報道がなされれば、関係のないオタクが犯罪者のようにバッシングの対象となり、マスコミで取り上げられることもあった。（岡田，2008）¹⁾

オタクの定義・概念は時代により変化している。本論文では、オタクとは、好きなアニメやまんが作品について共有したいため、他人に伝えようとするファンであると、おおまかに定義する。アニメ・まんが作品における聖地巡礼及びオタク・ファンに関する報道は、マスコミで話題作りのための一過性のものにすぎないと感じていたが、そうではなかった。

参考文献によれば、アニメ『らき☆すた』の鷲宮神社や、アニメ『あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない』の秩父のように、聖地を巡礼するファンやオタクが増加した際、立ち上がったのは、役所や観光協会、商工会だった。巡礼者を受け入れ、アニメ・まんが作品と聖地巡礼を連携させ、聖地（地域）のPRを企画・開催したり、アニメ・まんが作品と連携したイベントを催したりした。（今井信治・川崎のぞみ，2012）²⁾

聖地巡礼者も言い換えれば観光客だ。聖地巡礼も一つの観光スタイルと言えるし、聖地巡礼だけではなく、巡礼者を迎えるイベントも観光コンテンツとなりつつあるのだ。

(3) 提案

長崎県内におけるアニメ・まんが作品の聖地巡礼の例として、本論文で取り上げたいのが、長崎市を舞台にしたテレビアニメ『sola』である。³⁾『sola』は、久弥直樹・原案、七尾奈留・キャラクター原案によるテレビアニメである。長崎県長崎市を舞台にした作品であったが、長崎県内の地上波テレビでは放送されることはなく、一部インターネット放送を通じて放送された。

「sola」「聖地巡礼」の二つのキーワードをGoogleで検索したところ、約14,200件のヒットがあった。ヒットしたウェブサイトを開覧していると、長崎県外から、『sola』の舞台である長崎市を訪れた記録が載ったウェブログが見つかったためだ。

『sola』を選んだもう一つの理由は、ストーリーが展開する上で、キャラクターが移動しているのが路面電車沿いや、長崎市街地周辺を主に移動しているからである。路面電車は、長崎市内の主要な観光地へのアクセスに便利で、長崎市を訪れた観光客の多くが利用する交通手段だ。『sola』の作品全体を通して、キャラクターが移動している量・範囲が少なく狭い。電子マップを作成するうえで、マッピングする情報量を考慮し、テストを兼ねてマッピングを行うには適当と判断した。

以上の理由で、テレビアニメ『sola』を例に、アニメやまんが作品における聖地巡礼が、地域社会における観光コンテンツとして有用ではないかと思い、電子マップを作成することを決定した。

2. マッピングに関して

(1) マッピングの方法の決定

マッピングの方法について検討していたところ、ししよまろはんと京都フラワーツーリズムが発表したプレスリリース⁴⁾の情報を得た。ししよまろはんは、京都の図書司書の集まりである。プレスリリースによれば、ししよまろはんが公開していた「京都が本に出てくる本のデータ」というオープンデータを、京都フラワーツーリズムが公開しているアプリケーション「ご当地ナビ」に組み込んだとのことだった。

そこで、「ご当地ナビ」を、所持している android 端末のスマートフォンにダウンロードし、実際に使用してみた。地図上に、本の情報が舞台となった場所にプロットされており、ストリートビューを使えば、現在地から舞台となった地までの道案内が表示される。使用されたオープンデータは、LinkData にアップロード・公開されていた。LinkData について、詳しくは後述するが、作成したデータをもとに、アプリケーションを作成すること

が可能であると知った。スマートフォンやタブレット端末が普及している現在、アプリケーションは観光案内として利用価値があると思われる。Google マップ及びストリートビューを使った交通・観光案内は、地域 ITS として役立つ可能性があると判断し、電子マップの作成に、LinkData の利用を決めた。

(2) LinkDataについて

LinkData 及び LinkData.org については、LinkData.org 及び関連ウェブサイトを参考に説明する。LinkData.org は、「データ・アプリ・アイデアの作成と公開を支援するプラットフォーム」⁵⁾であり、LinkData⁶⁾、App.LinkData⁷⁾、Idea.LinkData⁸⁾、CityData⁹⁾の四つのウェブサイトで構成されている。各ウェブサイトの利用規約や目的に関する文書を読んでいると、データをオープン化することにより、LinkData.org を利用するすべてのユーザーが、同ウェブサイト上で作品や考え方を共有することにより、よりよいものを作り上げていく印象を受けた。アカウントも、LinkData.org に登録することで、以上の四つのウェブサイトと同一アカウントで利用が可能となっている。LinkData 及び CityData の研究・技術開発は、独立行政法人理化学研究所 生命情報基盤研究部門が行っている。LinkData のサービスの運用は、アクシオヘリックス株式会社がやっている。

本論文で電子マップを作成する使用した LinkData は、テーブルデータを作成、公開、閲覧できるものである。テーブルデータのテンプレートは、同ウェブサイトから作成、ダウンロードできる。執筆者の主観だが、ダウンロードしたテンプレートには、入力するラベル書かれており、初心者にとって分かりやすい入力フォームである感じた。アップロードしたテーブルデータは、データ作品として公開される。作成したテーブルデータ及びデータ作品の公開は、全体に公開するほか、URL を知る一部ユーザーに対して限定公開する方法、非公開が設定できる。

3. 『sola』 聖地巡礼マップの作成にあたり

(1) 先行研究

テレビアニメ『sola』の聖地巡礼の電子マップを作成するにあたり、『sola』の聖地巡礼を行ったウェブログを検索し、表にまとめた。(表-1)

気づいた点がいくつかある。ウェブログには、作品や観光地の解説だけではなく、観光地の写真とアニメのスクリーンショットを比較して載せていたものが多かった。似た事例で、LinkData上に、ユーザーの福野泰介が作成した「アニメ『メガネブ』ロケ地」¹⁰⁾のデータ及び、

アプリが公開されていた。(図-1) このアプリは、アニメの画像を載せていた。当然のことながら、作成したユーザーもアニメの画像に関しては、データのライセンスの対象外と説明していた。アニメ作品など他者が作成した創作物を無断で編集・公開することは著作権法で違反となる。またLinkDataは、作成したユーザー以外にも、テーブルデータを閲覧、ダウンロードすることもできる。つまり、他のユーザーがテーブルデータの内容を再利用・再構成できる点、著作権法における公衆送信権の侵害に触れる。そのため、電子マップにアニメやまんがが作品のスクリーンショットや写真を埋め込むことは望ましくない。

『sola』の聖地巡礼のウェブログは、約20あった。この数は、ウェブログのみをカウントしたもので、2ちゃんねるといった掲示板、聖地巡礼に関する情報が集められ、載せられているデータベースのウェブサイトはカウントしていない。検索トップからブログとして有効なもの上位からピックアップした。作品やシーン、巡礼した際に撮影された写真とアニメのスクリーンショットを比較した解説は、検索したほぼすべてのウェブログで行われていた。交通アクセスに関する情報についてはほぼ書かれていなかった。『sola』で舞台となった教会の内部のモデルであった黒崎教会に関するバスの情報が書かれていたくらいだ。数件のブログに、観光名所を訪れたり、名物・名産(例えば、トルコライスやハトシロールなど)を食して楽しんでいたり、聖地巡礼以外の観光のレポートがあったものの、少なかった。圧倒的に聖地巡礼だけのレポートが多く、聖地以外の他の長崎市の観光地を訪れている情報が少なかった。

(2) Sola聖地巡礼マップの作成

企画当初に制作を考えていた電子マップは、プラン1であった。理想は、「アニメ『メガネブ』ロケ地」であったが、著作権の観点から、実現不可能であった。そのため、代替案であるプラン2を計画、実行した。電子マップの作成目的・作成意義は以下のとおりである。

作成目的: 聖地巡礼の電子マップを作成・公開し、聖地巡礼者及び観光客に使用を推進する。

作成意義: 作成した聖地巡礼の電子マップが観光コンテンツ、地域ITとしての可能性について検討をするために、電子マップを作成、公開する。

プラン1: Google マップのストリートビューを利用することにより、長崎を訪れなくても、作品の舞台となった場所を探訪する電子マッ

プを作成する。アニメのスクリーンショットをマップに挿入することにより、アニメと実在する聖地をGoogleマップ上で巡礼できるよう楽しめるよう試みる。

プラン2：聖地巡礼目的以外の観光客も利用できる、観光地への交通アクセスの情報を載せた電子マップを作成する。

プラン2に決めた理由がもう一つある。『sola』の聖地巡礼を行ったウェブログをまとめていて、痛烈に感じたことがある。それは、アニメ・まんが作品の聖地巡礼において、聖地巡礼とはそもそも、聖地巡礼を行う元になったアニメ・まんが作品を知らなくては意味がない。参考文献によれば、「ファンは厳密な意味でのその舞台の

風景や歴史・文化を見に行くのではなく、登場人物が生活を演じる書割を見、物語や登場人物の心情が投影された—それは多分に自分のノスタルジーを重ね合わせた—場所で作品世界を疑似体験¹¹⁾するのである。作品を見て、舞台となった地を訪れるのが聖地巡礼の醍醐味であると言える。また、プラン2を選択して気づいた可能性がある。長崎県内を訪れた観光客が、聖地巡礼が目的ではないが、観光名所と聖地が同じだった場合（『sola』の場合、大浦天主堂や眼鏡橋などがある）、元のアニメ作品は知らなくても、電子マップそのものは利用できるのだ。知らなかったが、気になって作品を視聴して、再び長崎県を訪れ、今度は聖地巡礼を兼ねた観光を行う、観光客のリピーターとなる可能性もあるのだ。

表-1 『sola』の聖地巡礼の記録が載ったウェブログ一覧

サイト名	URL	サイトの形態	コンテンツ		作品・シーンの説明	観光・交通情報
			画像	備考・その他		
色塗りのぼやき.....	http://www7.plala.or.jp/ironuri_bito/index.html	ブログ	写真	手描きのイラストあり	あり	あり
飛行機さつえい奮闘記	http://blog.goo.ne.jp/kouhei14915	ブログ	写真、アニメ画像	-	あり	なし
作品データベース	http://sakuhindb.com/	その他	写真、アニメ画像	-	あり	なし
@ましろちゃんの憂鬱	http://blog.livedoor.jp/mashiro2009/	ブログ	写真	動画あり	あり	あり
ロック's Diary	http://locke.blog.so-net.ne.jp/	ブログ	写真、アニメ画像	-	あり	あり
カナリアの軌跡	http://kanalianokiseki.blog96.fc2.com/	ブログ	写真、アニメ画像	-	あり	あり
MTR的活動日誌	http://nishitetsu.blog91.fc2.com/	ブログ	写真	-	あり	あり
Discommunicator	http://www2tbiglobe.ne.jp/~hi-taka/index.html	その他	写真	手描きのイラストあり	あり	あり
デルタ	http://profile.ameba.jp/delta-colorless-window/	ブログ	写真、アニメ画像	-	あり	なし
みんなカズ(SNS):SHO@imas	http://minkara.carview.co.jp/	ブログ	写真、アニメ画像	-	あり	あり
みんなカズ(SNS):桜木	http://minkara.carview.co.jp/	ブログ	写真	痛車、アニメの等身大ポップあり	あり	あり
とある自転車乗りのチラン裏	http://fwht8392.blog.fc2.com/	ブログ	写真、アニメ画像	-	あり	あり
因果応報+	http://ingaouhou.com/	ブログ	写真、アニメ画像	-	あり	あり
聖地巡礼ダイアリー	http://seichidiary.blog.fc2.com/	ブログ	写真、アニメ画像	撮影方法・コツの情報	あり	あり
OPRM is my Life!	http://cprmfan.blog51.fc2.com/	ブログ	写真	-	あり	あり
アニオタ学生の日記	http://anitagakusei.blog123.fc2.com/	ブログ	写真、アニメ画像	まんがの画像もあり	あり	あり
Airmanasi	http://www.geocities.jp/airmanasi/index.html	ブログ	写真	-	あり	なし
ともジンの九州自転車珍道記	http://www.blogmura.com/profile/01197147.html	ブログ	写真	-	あり	あり



図-1 「アニメ『メガネブ』ロケ地」スクリーンショット

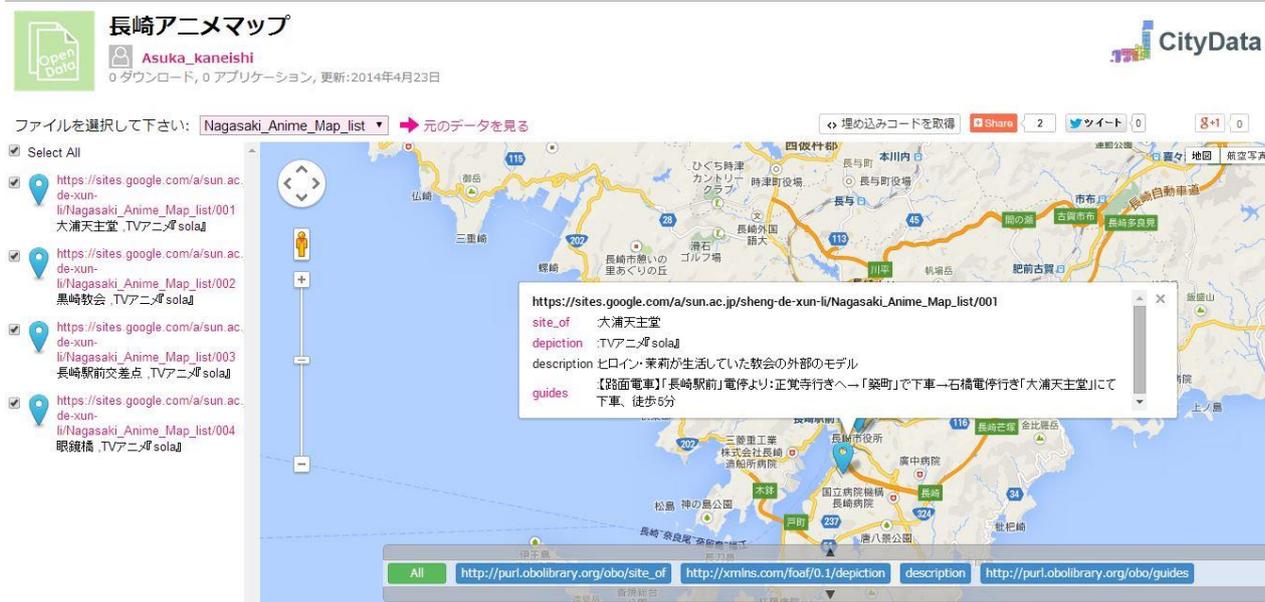


図-2 「長崎アニメマップ」スクリーンショット



図-3 「長崎アニメマップ」注意が必要な情報を表示した例

5. おわりと展望

今回作成を試みた「長崎アニメマップ」は未完成の段階であり、今後さらに情報を加えていきたい。可能な限り、長崎県内を舞台とした他のアニメ作品に関しても、データのマッピングを行いたいと考えている。

現在作成している「長崎アニメマップ」では、文字情

報のみであるため、マップ上で提供するのに適当なスタイルを確立する必要がある。「ご当地ナビ」のように、文字情報ではなく、ストリートビューを使用したガイドができるアプリケーションもそのスタイルのひとつとしてとらえている。

アニメ・まんが作品を用いた聖地巡礼に、交通・観光

に関する情報を加え、電子マップを作成することにより、聖地巡礼が観光コンテンツのひとつとして、より確立できるように取り組みたい。長崎県など地方における地域ITSの可能性のひとつとなりえるよう、聖地巡礼にメインにおいた電子マップの作成を続け、公開し、検討を行っていききたい。

参考文献・資料・ウェブサイト

- 1) 岡田斗司夫：オタクはすでに死んでいる，pp.50-86，新潮社（新潮文庫），2008
- 2) 星野英紀., 山中弘, 岡本亮輔編：聖地巡礼ツーリズム，pp.146-153, 弘文堂, 2012
- 3) sola～オフィシャルサイト～
<http://www.sola-project.com/>
- 4) 本とスマートフォンを持って行こう！「小説・マンガに出てくるスポット」をスマートフォンアプリで案内（プレスリリース，PDF）
http://i2navi.net/wp-content/uploads/2014/03/PresRelease_2014_3_novelnavi.pdf

- 5) LinkData.org
<http://linkdata.org/>
- 6) LinkData
<http://linkdata.org/home>
- 7) App.LinkData
<http://app.linkdata.org/>
- 8) Idea.LinkData
<http://idea.linkdata.org/recent>
- 9) CityData
<http://citydata.jp/>
- 10) 「アニメ『メガネブ』ロケ地」
<http://linkdata.org/work/rdf1s1093i>
- 11) 星野英紀., 山中弘, 岡本亮輔編：聖地巡礼ツーリズム，p.153, 弘文堂, 2012
- 12) 京都が出てくる本のデータ
<http://linkdata.org/work/rdf1s1294i>
- 13) 長崎アニメマップ
<http://linkdata.org/work/rdf1s1365i?key=bc0229a88f4fa61a5fa94533e582ffd55a6239ed1978bd0f7248bf43b0d28179059a823bb84ebc3aa83bc575f08fcaca>

(2014. 4. 25 受付)

Possibility of local ITS using an animation as sightseeing contents

Asuka KANEISHI, Hitoshi MORITA